

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3141413号
(U3141413)

(45) 発行日 平成20年5月8日 (2008.5.8)

(24) 登録日 平成20年4月16日 (2008.4.16)

(51) Int.Cl.

A 4 7 F 7/24 (2006.01)

F 1

A 4 7 F 7/24

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 13 頁)

(21) 出願番号 実願2007-7960 (U2007-7960)
(22) 出願日 平成19年9月14日 (2007.9.14)(73) 実用新案権者 507319492
島山 世津子
東京都江戸川区本一色1-22-13-7
03
(74) 代理人 100084386
弁理士 福岡 要
(72) 考案者 島山 世津子
東京都江戸川区本一色1-22-13-7
03

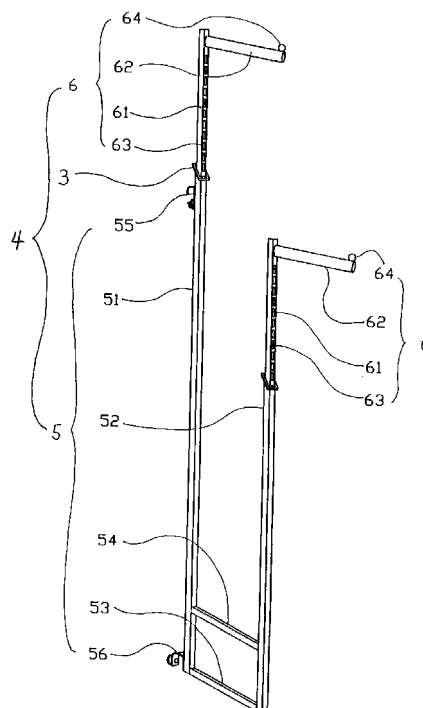
(54) 【考案の名称】 フェースアウト陳列補助具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】特に横掛け陳列しか出来ない既存什器や一部商品しか見えない既存什器を2～3段陳列や商品全体が見えるフェースアウト陳列を可能とし、商品を見易くして、購買意欲喚起により販売促進を図るようにしたフェースアウト陳列補助具を提供する。

【解決手段】フェースアウト陳列補助具4は、既存什器に汎用的に装着できる支持体5と、支持体5に係止され商品を陳列支持する係止体6と、支持体5と係止体6に係止するストッパ3とから構成されており、多数商品を見易くして陳列することができる。支持体5は、既存什器の上梁と下梁とに固定される後支持柱51と、後支持柱51の前方に後支持柱に平行に立設された前支持柱52と、後支持柱51と前支持柱52との相互の下部を連結する下横53と、下横53と所定間隔を開けて上方の後支持柱51と前支持柱52の相互を連結する上横54とから構成される。

【選択図】図17



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

既存什器に汎用的に装着できる支持体と、
該支持体に係止され商品を陳列支持する係止体と、
該支持体に係止体の高さを自由に設定して係止するストッパとから構成され、
既存什器に装着することより多数商品を見易く展示陳列することにより需要を喚起できる
ことを特徴とするフェースアウト陳列補助具。

【請求項 2】

支持体は、
既存什器の上梁と下梁とに固定される後支持柱と、
該後支持柱の前方に後支持柱に平行に立設された前支持柱と、
該後支持柱と前支持柱との相互の下部を連結する下棧と、
該下棧と所定間隔を開けて上方の後支持柱と前支持柱の相互を連結する上棧と、
から構成されている、
ことを特徴とする請求項 1 記載のフェースアウト陳列補助具。

【請求項 3】

係止体は、
前面の中央に縦配列された多数の係止孔が所定間隔で開設されており、後支持柱と前支持
柱に夫々着脱自在に挿入係止される係止柱と、
該係止柱の上部の前面に溶接等の接合手段により水平方向に一体に突設形成されたフック
と、から構成されている、
ことを特徴とする請求項 1 記載のフェースアウト陳列補助具。

【請求項 4】

ストッパは、
前記係止柱の外側に装着可能な枠形状の枠体と、
該枠体の短辺中央から内方に突設されて、係止柱の前面中央に所定間隔で縦配列されて開
設された多数の係止孔に係合係止されるストッパ片とから構成されており、
前記係止柱を前記後支持柱や前支持柱の夫々の上端に係止させることで前記係止体の高さ
を自由に設定することができ、
各係止体のフックに商品を掛けた衣料用ハンガーに係止できる状態にすることが出来る、
ことを特徴とする請求項 1 記載のフェースアウト陳列補助具。

【請求項 5】

前記後支持柱の背面の上下には、既存什器に支持体を取付ねじにより汎用的に装着する
ための上取付体と下取付体とが設けられている、
ことを特徴とする請求項 2 記載のフェースアウト陳列補助具。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、フェースアウト陳列補助具に関し、特に横掛け陳列しか出来ない既存什器や
一部商品しか見えない既存什器を 2 ～ 3 段陳列や商品全体が見えるフェースアウト陳列を
可能とし、商品を見易くして、購買意欲喚起により販売促進を図ることができるようにし
たフェースアウト陳列補助具に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来使用されていた既存什器は、大量に陳列して安さをアピールするために使用されて
いたもので、横掛け陳列しか出来ないことから、価値をアピールし、需要を喚起して、販
売の促進を図る時代対応の売場作りの大きな障害となっていた（図 18）。

【0003】

また、従来使用されていた既存什器は、一部商品しか見えないものである為、商品が見

10

20

30

40

50

難く、購買意欲喚起することができず、商品価値をアピールし、商品のコーディネート陳列が求められる時代に対応した売場作りの大きな障害となっていた（図１９）。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００４】

このような従来技術の問題点に鑑み、本考案の主な目的は、消費の変化に対応できない既存什器を、２～３段陳列や商品全体が見えるフェースアウト陳列を可能とし、商品を見易くして、商品価値を高め、購買意欲喚起により販売促進を図ることができる、既存の既存什器に追加的に使用可能なフェースアウト陳列補助具を提供することにある。

10

【課題を解決するための手段】

【０００５】

このような目的は、本考案によれば、既存什器に汎用的に装着できる支持体５と、該支持体５に係止され商品を陳列支持する係止体６と、該支持体５に係止体６の高さを自由に設定して係止するストッパ３とから構成され、既存什器に装着することより多数商品を見易く展示陳列することにより需要を喚起できる、

ことを特徴とするフェースアウト陳列補助具、を提供することにより達成される。

20

【考案の効果】

【０００６】

このように、本考案によれば、陳列効果の悪くなった既存什器を最小のコストで時代に対応した最大価値を高める陳列什器に変更して従来の問題点を解決することができる（図１６、図１７）。

【０００７】

すなわち、

（１）既存の既存什器に追加的に使用することで、２～３段陳列や商品全体が見えるフェースアウト陳列を可能とし、商品を見易くして、商品価値を高め、購買意欲喚起により販売促進を図ることができるという効果がある。

30

（２）さらに、多数の商品を什器や商品に邪魔されることなく商品全体が見えるように、簡単かつ確実に陳列できるという効果がある。

（３）また、衣料品等の商品を簡単かつ確実に支持することができ、陳列作業を迅速に行うことができるので、従来陳列作業が煩雑であるという問題点を解消することができ、商品の陳列に当たり、陳列作業が容易になるという効果がある。

（４）さらに、多数の商品の前面を見易く陳列することにより購買者に見易くでき、商品主体の陳列ができるので需要を喚起でき、販売促進効果を向上でき、本来機能を充分発揮でき、商品よりも什器が目立ち過ぎるという従来問題点を解消できるという効果がある。

（５）また、陳列商品に合わせて前後左右の相互間隔を調整できるから、陳列商品に最適な陳列配置とすることができ、多数商品を購買者に見易くして陳列できるので、販売促進効果を向上でき、本来の機能を充分発揮できるという効果がある。

40

（６）さらに、商品に合わせて前後方向に２段、３段と、多段配列でき、また左右にも複数配列でき、相互配置を調整できるから、最適な陳列配置ができ、多数商品を購買者に見易く、しかも取外し易く陳列でき、販売促進効果を向上でき、本来の機能を充分発揮できるという効果がある。

（７）また、多数商品を円滑に支持できるので、多数商品の陳列にあっても容易に作業ができ、従来陳列作業に時間がかかるという問題点を解消できるという効果がある。

（８）また、多数商品を出入れ可能に重ねて陳列でき、従来什器が邪魔するので後側の商品を取り出し難いという問題点を解消できるという効果がある。

50

(9) さらに、商品に応じて好適な陳列配置が出来る他、これ以外の一般的な商品に同要領にて使用できる為、汎用的に幅広く使用できるという極めて大なる効果がある。

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 8 】

次に、本考案を添付の図面を参照して、特定の実施の形態について詳述する。

【 0 0 0 9 】

本考案のフェースアウト陳列補助具は、
既存什器に汎用的に装着できる支持体と、
該支持体に係止され商品を陳列支持する係止体と、
該支持体に係止体の高さを自由に設定して係止するストッパと、から構成され、
既存什器に装着することより多数商品の前面を見易く展示陳列することにより、
商品の陳列作業が簡単かつ確実になり、該作業を迅速に行うことができると共に、
需要を喚起して販売促進効果を向上させることができ、
従来の問題点の解消を図り使用勝手を飛躍的に向上させた優れたものとなる。

【実施例 1】

【 0 0 1 0 】

図 1 ~ 図 1 7 は、本考案に基づくフェースアウト陳列補助具の実施の形態の第一実施例を示している。

【 0 0 1 1 】

以下に添付の図面を参照して、本考案を特定の実施例について詳述する。

【 0 0 1 2 】

図 1 ~ 図 1 7 は、本考案の一実施例を示し、
本考案のフェースアウト陳列補助具 4 は、既存什器 2 に汎用的に使用することができ、多数の商品 G を前後左右に多層的に陳列できるものである。

【 0 0 1 3 】

該既存什器 2 は、例えば、図 1 8、図 1 9 に良く示されているように、次のようなものがあり、
所定間隔を開けて平行に配設され床面等に配置される基台 2 1、2 1 と、
該基台 2 1、2 1 に立設されると共に、相互に平行に配設された支柱 2 2、2 2 と、
該支柱 2 2、2 2 の相互の上部を連結する上梁 2 3 と、
該支柱 2 2、2 2 の相互の下部を連結すると共に、上梁 2 3 に平行に配設された下梁 2 4 と、から構成され、矩形の枠体に形成されており、
既存のものをそのまま利用して使用することができるので、新たに製作したり購入したりする必要はない。

【 0 0 1 4 】

この既存什器 2 に汎用的に使用することで商品 G を陳列して展示することができるフェースアウト陳列補助具 4 は、図 1 5 ~ 図 1 7 に良く示されているように、

既存什器に汎用的に装着できる支持体 5 と、
該支持体 5 に係止され商品を陳列支持する係止体 6 と、
該支持体 5 に係止体 6 の高さを自由に設定して係止するストッパ 3 と、
から構成されており、多数の商品 G を陳列することができる。

【 0 0 1 5 】

また、前記フェースアウト陳列補助具 4 を構成する支持体 5 は、
図 1 ~ 図 1 7 に良く示されているように、
前記既存什器 2 の上梁 2 3 と下梁 2 4 に固定される後支持柱 5 1 と、
該後支持柱 5 1 の前方に後支持柱 5 1 に平行に立設された前支持柱 5 2 と、
該後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 との相互の下部を連結する下横 5 3 と、
該下横 5 3 と所定間隔を開けて該下横 5 3 より上方の後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 の相互を連結する上横 5 4 と、
該後支持柱 5 1 の背面の上下に固定された上取付体 5 5 と下取付体 5 6 と、

から構成されている。

【 0 0 1 6 】

この後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 は、図 1 ～ 図 1 7 に良く示されているように、矩形の中空筒材から形成されている。

【 0 0 1 7 】

また、前記下棧 5 3 と上棧 5 4 は、図 1 ～ 図 2 に良く示されているように、矩形の中空筒材から形成されると共に、上下に所定間隔を開けて配設され、後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 の下部相互を溶接等の接合手段により固定して枠状に連結している。

【 0 0 1 8 】

さらに、前記上取付体 5 5 は、図 1 ～ 図 1 2 に良く示されているように、上端が半円状に形成されると共に下端が L 字状に形成され、後支持柱 5 1 の上部背面に溶接等により固定される取付片 5 7 と、該取付片 5 7 の下辺に上向きにねじ止された取付ねじ 5 8 と、から構成されており、取付片 5 7 の上辺 5 7 a と取付ねじ 5 8 の先端（上端）との間に、前記既存什器 2 の上梁 2 3 を配設して、該取付ねじ 5 8 にて締結する（図 9、図 1 0）。

【 0 0 1 9 】

また、前記下取付体 5 6 は、図 1 ～ 図 1 2 に良く示されているように、逆 U 字状に形成され、後支持柱 5 1 の下端背面に溶接等により固定される取付片 5 9 と、該取付片 5 9 の外側に横向きにねじ止された取付ねじ 5 8 と、から構成されており、取付片 5 9 の内辺 5 9 a と取付ねじ 5 8 の先端との間に、前記既存什器 2 の下梁 2 4 を配設して、取付ねじ 5 8 にて締結する（図 1 1、図 1 2）。

【 0 0 2 0 】

上記既存什器 2 にフェースアウト陳列補助具 4 を装着するには、図 1 8、図 1 9 に良く示されているように、既存什器 2 に目的に応じて所定数（本実施例にあつては 3 個）の支持体 5 を固定することによって行い、既存什器 2 の上下方向に所定間隔を開けて固定されている前記既存什器 2 の上梁 2 3 と下梁 2 4 に、支持体 5 を構成する後支持柱 5 1 を 3 個左右方向に所定間隔を開けて、または正面と背面に背中合せにて、夫々装着固定することができる（図 9 ～ 図 1 2 及び図 1 8、図 1 9）。

【 0 0 2 1 】

この既存什器 2 の上梁 2 3 と下梁 2 4 に 3 個の後支持柱 5 1 を装着固定するのは、図 1 8、図 1 9 に良く示されているように、上梁 2 3 と下梁 2 4 に 3 個の後支持柱 5 1 を上取付体 5 5 と下取付体 5 6 の取付ねじ 5 8 にて上梁 2 3 と下梁 2 4 に夫々ねじ締結することによって行い、複数のフェースアウト陳列補助具 4 を既存什器 2 に所定間隔を開けて、または正面と背面に背中合せにて、夫々装着固定することができる（図 9 ～ 図 1 2 及び図 1 8、図 1 9）。

【 0 0 2 2 】

尚、これら既存什器 2 の上梁 2 3 と下梁 2 4 に後支持柱 5 1 を装着固定するのは、上記実施例のねじ締結に限られることなく、溶接等により固定するものであっても良いのは勿論である。

【 0 0 2 3 】

一方、前記フェースアウト陳列補助具 4 を構成する係止体 6 は、図 1 ～ 図 6 と図 1 7 に良く示されているように、前記並行配列された後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 に夫々着脱自在に係止される係止柱 6 1 と、該係止柱 6 1 の上端の前面に溶接等の接合手段により一体に水平方向に突設形成されたフック 6 2 と、から構成されている。

【 0 0 2 4 】

この係止柱 6 1 は、図 1 ～ 図 6 と図 1 7 に良く示されているように、前面 6 1 a の中央に縦配列された多数の矩形スリット状の係止孔 6 3、6 3、... が、所

10

20

30

40

50

定間隔で開設されている。

【 0 0 2 5 】

さらに、この係止柱 6 1 は、図 1 ~ 図 6、及び図 1 5 ~ 図 1 7 図、に良く示されているように、

前記並行配列された後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 に夫々着脱自在に挿入されると共に、ストッパ 3 を前記縦配列された多数の矩形スリット状の係止孔 6 3、6 3、... の何れかに着脱自在に係止することによって、高さを自由に設定すると共に、該後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 に夫々係止固定されている。

【 0 0 2 6 】

また、上記フック 6 2 は、図 1 ~ 図 5、図 1 3 ~ 図 1 4 図、及び図 1 7 に良く示されているように、

断面楕円形の丸棒からなり、係止柱 6 1 の上端前面に水平方向に突設形成されており、先端には、ハンガーの脱落を阻止するための係止部 6 4 が突設されている。

【 0 0 2 7 】

さらに、前記ストッパ 3 は、図 1 5 ~ 図 1 7 に良く示されているように、

係止体 6 を構成する係止柱 6 1 の外側に装着可能な矩形状の枠体 3 1 と、該枠体 3 1 の短辺中央から内方に突設されていると共に、前記矩形スリット状の係止孔 6 3 に係合係止可能なストッパ片 3 2 とからなり、

該ストッパ片 3 2 を該多数の係止孔 6 3、6 3、... のうち、適切な高さにすることができ、

前記係止柱 6 1 を前記後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 の上端に係止させることができ、

これによって後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 に各係止柱 6 1 を挿入係止させることで、

前記係止体 6 の高さを自由に設定することができ、

各係止体 6 のフック 6 2 に、商品 G を掛けた衣料用ハンガーに係止できる状態にすることが出来る。

【 0 0 2 8 】

このようにして、フェースアウト陳列補助具 4 に多数の衣料用ハンガーに係止することで、前後左右に段差を設けて、商品 G の前面を見易くして、購買意欲喚起により販売促進を図ることができるようにして、多数の商品 G を陳列することができる。

【 0 0 2 9 】

このような本考案によれば、図 1 8 と図 1 9 に良く示されているように、

フェースアウト陳列補助具 4 を構成する係止体 6 の水平方向に横設形成されたフック 6 2 にて多数の商品 G をハンガーを介する等して簡単かつ確実に陳列することができ、陳列作業を迅速に行うことができると共に、

前後に 2 段配設されているフック 6 2 にて多数の商品 G の前面を見易く展示陳列することにより購買者の需要を喚起でき、販売促進効果を向上できるので、

従来技術の問題点の解消を図り、使用勝手を飛躍的に向上させた優れたものとなる。

【 0 0 3 0 】

尚、本考案は、上記実施例の構成に限られることなく、上記実施例の構成に追加することや、他の構成で置換する等することができ、種々の変形例が考えられ、材質や形状或いは構成等を変えた他の実施例とすることができるのは勿論である。

【 0 0 3 1 】

次に、本考案の使用方法を上記実施の形態の第 1 例のフェースアウト陳列補助具 4 によって詳述する。

【 0 0 3 2 】

本考案のフェースアウト陳列補助具 4 にあっては、

前後左右に多数配設された複数のフック 6 2 にて多数の商品 G をハンガーを介する等して簡単かつ確実に陳列でき、陳列作業を迅速に行うことができると共に、前後に多段配設されているフックにて多数の商品 G の前面を見易くして展示陳列することにより、陳列する商品主体の陳列をできるので、需要を喚起して販売促進効果を向上させることができ、従

10

20

30

40

50

来の係止具が商品よりも目立ち過ぎることや陳列が乱雑となり易いことや陳列作業が煩雑であるといった問題点を解消することができるのである。

【 0 0 3 3 】

すなわち、図 1 ~ 図 1 9 に良く示されているように、

(1) まず、既存什器 2 に本考案フェースアウト陳列補助具 4 を装着固定する (図 1 8 と図 1 9) 。

(2) このフェースアウト陳列補助具 4 の装着は、既存什器 2 に目的に応じて所定数 (本実施例にあっては、3 個) の支持体 5 を固定することによって行い、既存什器 2 に設けられた上梁 2 3 と下梁 2 4 に支持体 5 を装着固定するのは、

図 7 ~ 図 1 2 に良く示されているように、

該上梁 2 3 と下梁 2 4 に後支持柱 5 1 の背面の上下に固定された上取付体 5 5 と下取付体 5 6 を、取付ねじ 5 8 にて締結することによって行い、

複数のフェースアウト陳列補助具 4 を既存什器 2 に所定間隔を開けて、または正面と背面に背中合せにて、夫々装着固定することができる (図 9 ~ 図 1 2 及び図 1 8 、図 1 9) 。

(3) 次に、上記各支持体 5 に各係止体 6 を挿入係止させる (図 1 ~ 図 7 及び図 1 7) 。

この係止体 6 の挿入係止は、各支持体 5 の後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 とに、係止柱 6 1 を挿入すると共に、ストッパ 3 の枠体 3 1 を係止柱 6 1 の外側に嵌合すると共に、該ストッパ 3 のストッパ片 3 2 を前記縦配列された多数の矩形スリット状の係止孔 6 3 、6 3 、... の何れかに着脱自在に係合して係止することによって行い、該後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 の上端に夫々係止固定する (図 1 ~ 図 7 及び図 1 5 ~ 図 1 7) 。

(4) このストッパ 3 による係止は、ストッパ片 3 2 を矩形スリット状の係止孔 6 3 、6 3 、... のうち、適切な係止孔 6 3 に係合させることにより、前記係止柱 6 1 の高さを自由に設定して、前記後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 の上端に係止固定させることができる。

(5) このように、後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 に各係止柱 6 1 を挿入係止させることで、各係止体 6 のフック 6 2 に、商品 G を掛けた衣料用ハンガーを係止できる状態にすることが出来る (図 1 7 ~ 図 1 9) 。

(6) このように、各支持体 5 に各係止体 6 を挿入係止させることで、各係止体 6 のフック 6 2 に、商品 G を掛けた衣料用ハンガーを係止できる状態にすることが出来、多数商品を陳列する際に、多数商品の前面を見易くして展示陳列することが可能となり、陳列商品主体の陳列ができるので、需要を喚起して販売促進効果を向上できるように、後支持柱 5 1 に係止する係止柱 6 1 が、前支持柱 5 2 に係止する係止柱 6 1 よりも高さが高くなって前後に段差ができるようにして行う (図 1 7 ~ 図 1 9) 。

(7) 次に、この複数のフック 6 2 に多数の衣料用ハンガーを係止して、フック 6 2 の先端に夫々立設されている係止部 6 4 によって、ハンガーの脱落を阻止することができる (図 1 ~ 図 5 及び図 1 8 、図 1 9) 。

(8) このようにして、フェースアウト陳列補助具 4 に多数の衣料用ハンガーを係止することで、前後左右に段差を設けて多数の商品を陳列して陳列することができる (図 1 7 ~ 図 1 9) 。

【 0 0 3 4 】

このように、本考案のフェースアウト陳列補助具 4 によれば、前後に段違いに配設された複数のフック 6 2 にて多数商品を簡単かつ確実に陳列でき、陳列作業を迅速に行うことができると共に、多数商品の前面を見易くして展示陳列することにより、陳列する商品主体の陳列できるので、需要を喚起して販売促進効果を向上でき、従来技術の問題点の解消を図り、使用勝手を飛躍的に向上できるものである (図 1 7 ~ 図 1 9) 。

【 0 0 3 5 】

尚、本考案のフェースアウト陳列補助具 4 は、上記実施例の構成に限られることなく、上記実施例の構成に追加することや、他の構成で置換することができるのは勿論であり、例えば、次のようなものがある。

【 0 0 3 6 】

(1) 既存什器 2 に本考案のフェースアウト陳列補助具 4 を装着させるのは、上記実施例

10

20

30

40

50

の上梁 2 3 と下梁 2 4 に後支持柱 5 1 をねじ締結することによって行うもの限られることなく、溶接等により固定するものであっても良いのは勿論である。

(2) 支持体 5 の支持柱の数は、上記実施例の後支持柱 5 1 と前支持柱 5 2 とからなる 2 個に限られることなく、3 個以上とするものであっても良いのは勿論であり、前後に段差を設けて装着させることにより、目的に応じて陳列して陳列するアンダーウェア等の多数の商品 G の数を増加させることができる利点がある。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 3 7 】

【図 1】本考案の実施の形態の一実施例を示すフェースアウト陳列補助具の背面図である。

10

【図 2】同正面図である。

【図 3】同右側面図である。

【図 4】同左側面図である。

【図 5】同要部の斜視図である。

【図 6】図 3 の C - C 断面図である。

【図 7】図 2 の A - A 断面図である。

【図 8】図 2 の B - B 断面図である。

【図 9】図 4 の D - D 断面図である。

【図 10】図 4 の異なる実施例の D - D 断面図である。

【図 11】図 4 の E - E 断面図である。

20

【図 12】図 4 の異なる実施例の E - E 断面図である。

【図 13】同平面図である。

【図 14】同底面図である。

【図 15】同フェースアウト陳列補助具を構成するストッパの正面図である。

【図 16】同ストッパの正面断面図である。

【図 17】同フェースアウト陳列補助具の斜視図である。

【図 18】同フェースアウト陳列補助具の既存什器装着の一例を示す斜視図である。

【図 19】同異なる例を示す斜視図である。

【図 20】従来例の陳列什器（既存什器）の一例を示す斜視図である。

【図 21】従来例の陳列什器（既存什器）の異なる例を示す斜視図である。

30

【符号の説明】

【 0 0 3 8 】

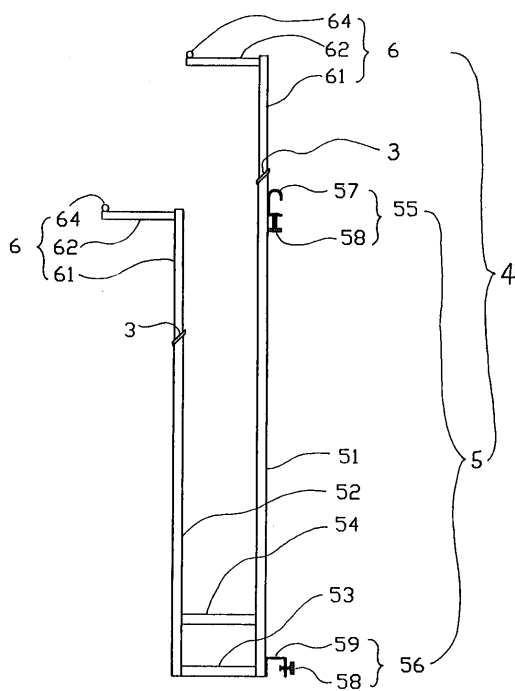
- 1 什器
- 2 既存什器
- 3 ストッパ
- 4 フェースアウト陳列補助具
- 5 支持体
- 6 係止体
- 2 1 基台
- 2 2 支柱
- 2 3 上梁
- 2 4 下梁
- 3 1 枠体
- 3 2 ストッパ片
- 5 1 後支持柱
- 5 2 前支持柱
- 5 3 下棧
- 5 4 上棧
- 5 5 上取付体
- 5 6 下取付片

40

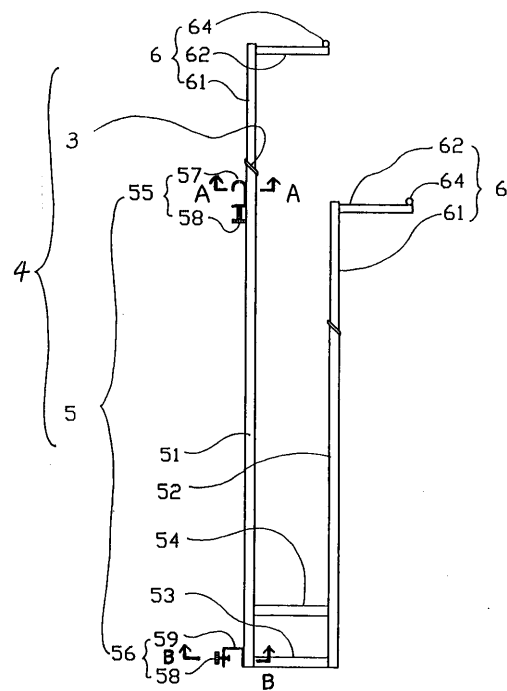
50

- 5 7 取付片
- 5 7 a 取付片の上辺
- 5 8 取付ねじ
- 5 9 取付片
- 5 9 a 取付片の内辺
- 6 1 係止柱
- 6 2 フック
- 6 3 係止孔
- 6 4 係止部
- G 商品

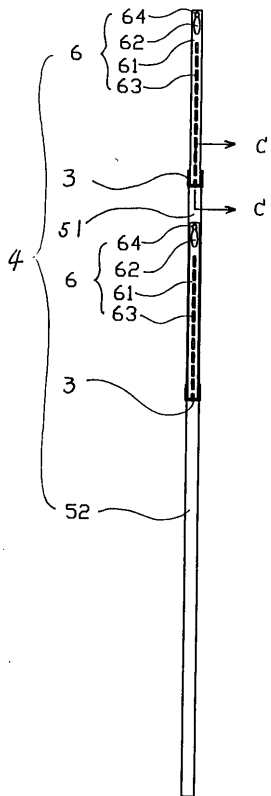
【図 1】



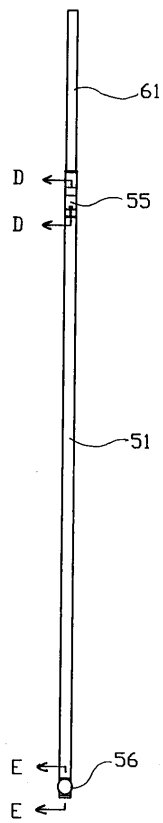
【図 2】



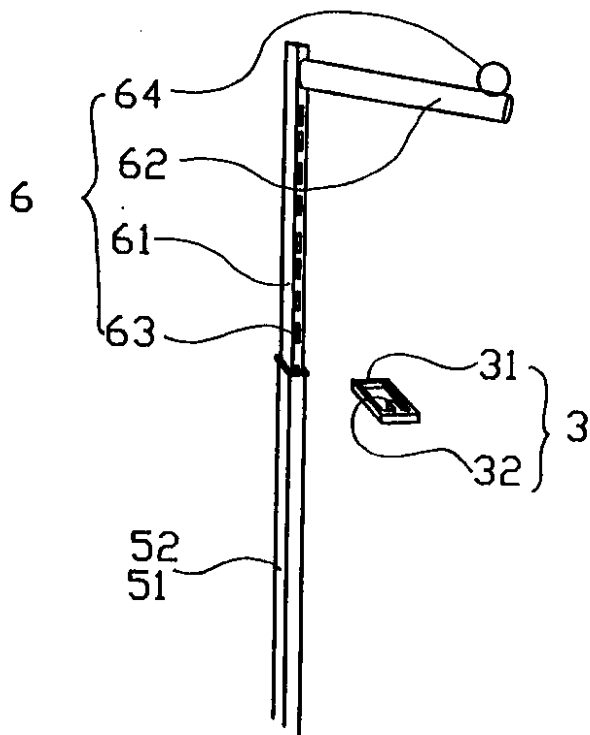
【図 3】



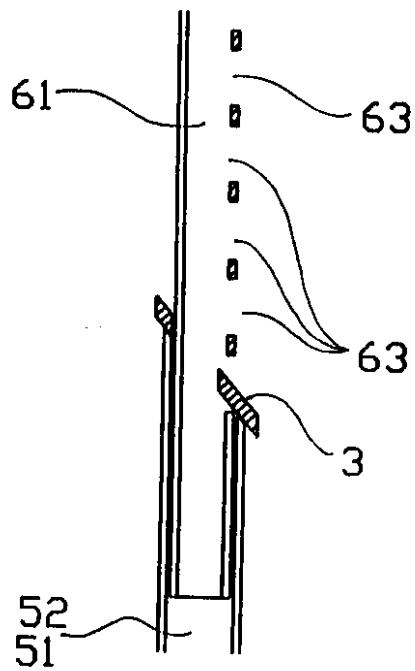
【図 4】



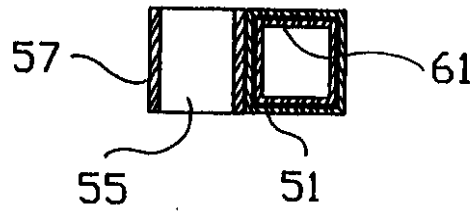
【図 5】



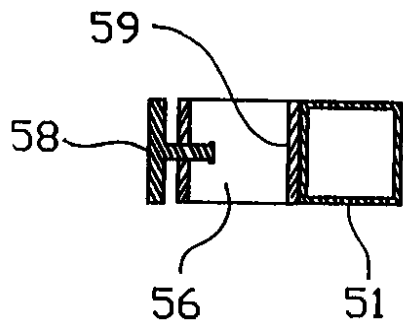
【図 6】



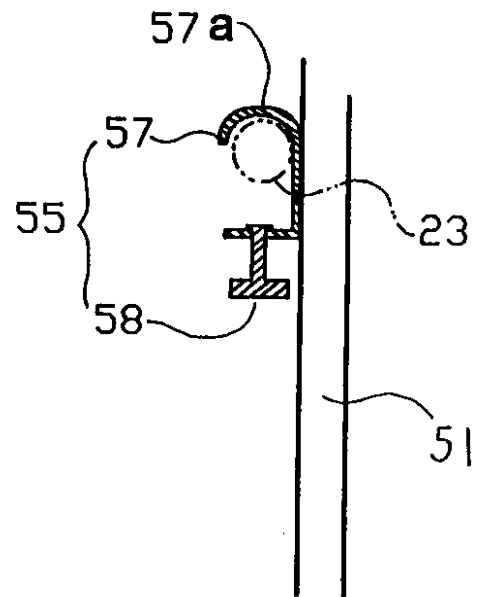
【図 7】



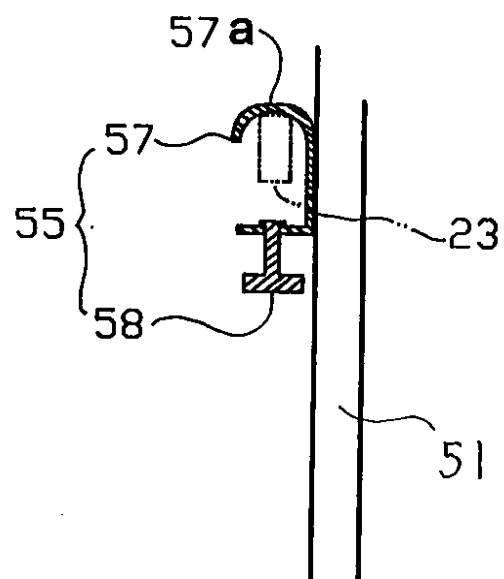
【図 8】



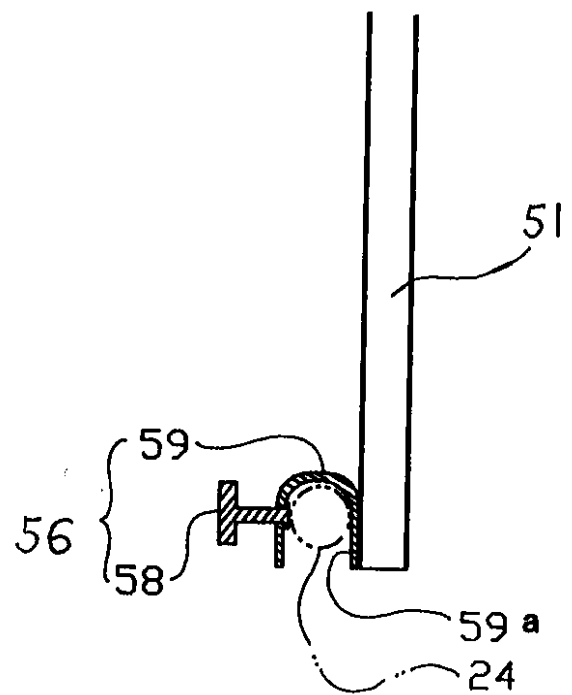
【図 9】



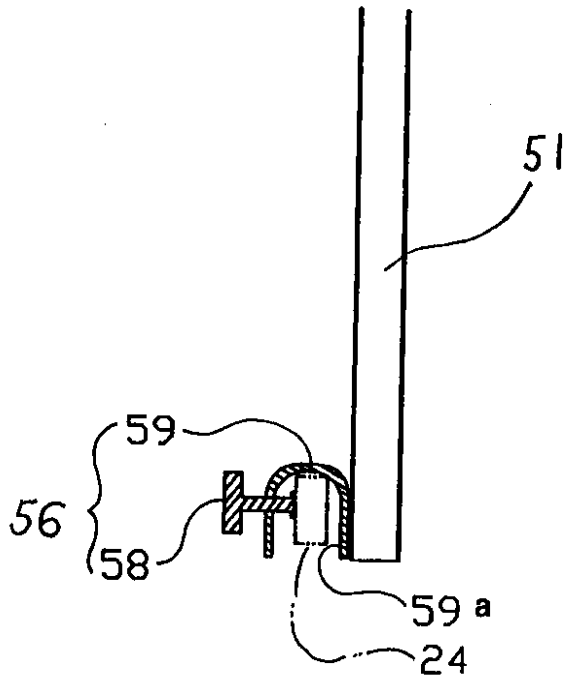
【図 10】



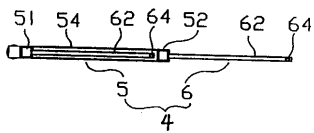
【図 11】



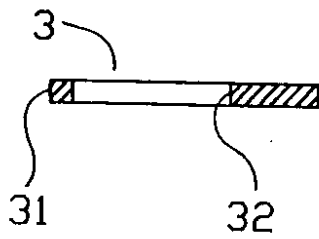
【図 1 2】



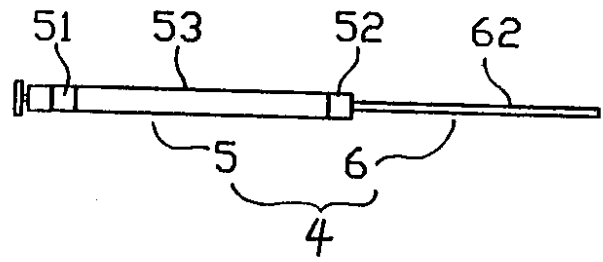
【図 1 3】



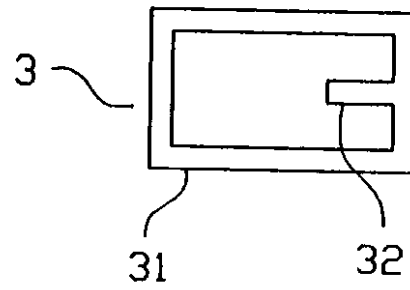
【図 1 6】



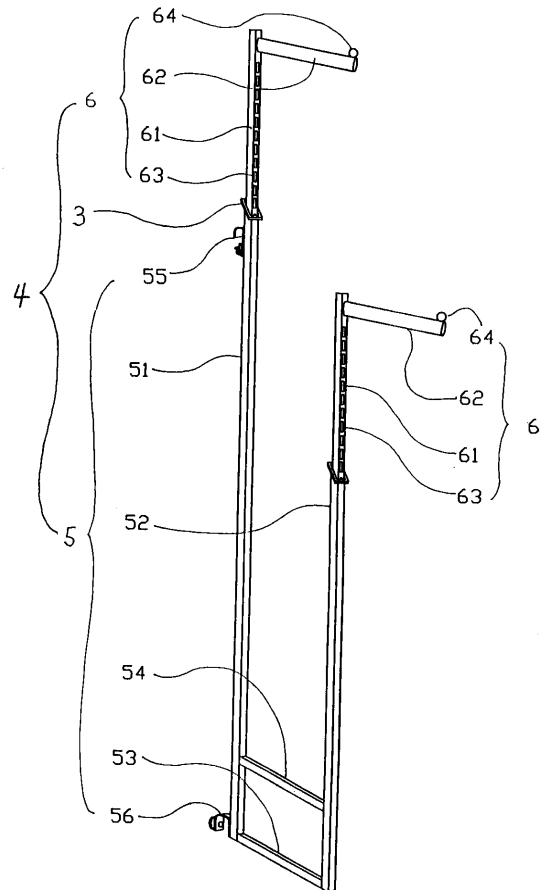
【図 1 4】



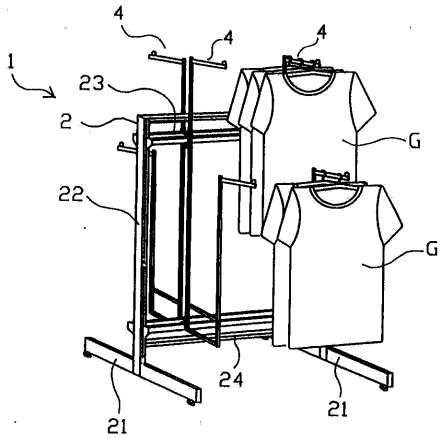
【図 1 5】



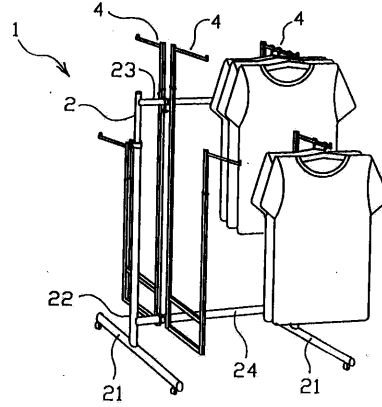
【図 1 7】



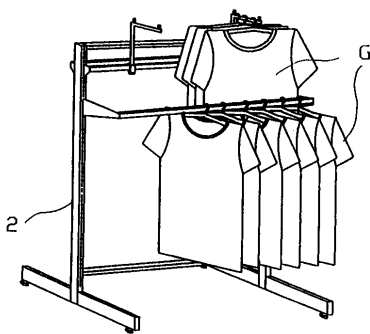
【図 18】



【図 19】



【図 20】



【図 21】

